

めざす子ども像

自分と郷土に誇りを持つとともに夢を持ち、かなえようとするども

取組目標

興東館柳生中学校区の自然・歴史・文化等の良さを知り、様々な体験活動や地域の方々との交流を通してしなやかな感性を育む

【今年度の取組紹介】

ふれあい広場2018

午前中は、各学校園の文化的な取組の場として興東館柳生中学校の体育館にて発表を行いました。柳生こども園の子どもたちによる歌とリズム表現、興東小学校の子どもたちの歌・踊り・太鼓、そして柳生小学校の子どもたちが合唱と合奏、民舞をそれぞれ発表しました。子どもたちみんなが、生き生きとした発表で大きな声で歌い舞い、体育館内の方々を魅了しました。中学生は1・2年生が歌と合奏を披露し、全校生徒で取り組んだ伝統芸能「柳生太鼓踊り」は2年生が大柳生太鼓踊りの説明、1年生が口上を読み上げ、3年生が衣装とシナイを身につけ見事に踊りました。参加された地域の方々に大きな感動を与えました。午後からは、会場を奈良市野外活動センターへ移動し、昼食時には地域による地産品販売もありました。また、特別ゲストによるマジック、ジャグリングショーは間近でみる迫力に時間も忘れるほどでした。校区の園児から中学生までが一つになれる行事として、この「ふれあい広場」は地域に定着しつつあります。



この取組を通して中学校区全体がさらに交流を深め、子どもたちが地域の中で生き生きと大きく成長していってくれると実感しました。

【今年度のまとめ】

【ふれあい広場2018】の取組より

- ㊦ ふれあいは 笑顔あふれる 蛍の里
- ㊧ レッツエンジョイ 年の一度の素敵な行事
- ㊨ ありがとう 地域の人に伝えたい
- ㊩ 意志強く 受け継ぐ心 永遠に
- ㊪ 光ってる みんなの発表 キラキラと
- ㊫ 老若男女 たくさんの人と楽しもう
- ㊬ バトンパス 地域の伝統つなげたい

【来年度に向けて】

今年の取組を継承し、より一層魅力的な内容となるよう、学校園と地域との連携を密にし、協働しながら企画運営していきます。また地域全体に浸透させ、新しい人材の育成、さらに地域が主体的に行事に取り組めるよう次年度に継承していきます。

めざす子ども像

自分と郷土に誇りを持つとともに夢を持ち、 かなえようとする子ども

取組目標

故郷を愛し、心豊かにたくましく生きる生徒の育成

【今年度の取組紹介】

地域の方をゲストティーチャーに招いて

自分たちの校区のすばらしさを、自分たち自身が知ることが大事だと考え、豊かな自然の中で、地域人材を活かした多彩な体験学習を進めています。なかでも大柳生太鼓踊りは、発表の場である地域行事「ふれあい広場」でも多くの方々の楽しみとなっています。全校生徒で取り組んだ伝統芸能「大柳生太鼓踊り」では、2年生がその説明を、1年生が口上を述べ、3年生が衣装とシナイを身にまとい見事に踊りきりました。その姿は、地域の多くの方々に感動を与えました。この体験学習を通して伝統文化の素晴らしさを知ること、そして受け継ぐことの大切さを考えることになったと思います。

また、「自分で浴衣を着よう」と夏祭りに合わせて、地域の方から頂いた浴衣でゲストティーチャーによる和装の授業、3年生の進路指導では面接指導を地域の方をお願いしたことで、本番さながらの緊張感も体験できた様です。

この他にも木剣体操やうどん打ち体験、図書ボランティアなど、多くの方の支援で生徒たちの学びが広がっていきました。



【今年度のまとめ】

上記の他にも、地域花いっぱい活動や校区清掃活動など地域を大切にする、地域に貢献する活動も実施しました。地域の方々の支援による様々な体験学習や伝統文化などを学ぶことにより、故郷を愛する心、地域を誇りに思う心を育てています。そして、何より地域の方の熱心な姿は、生徒が主体的に学ぶ力を自然と引き出させてくれています。

【来年度に向けて】

少人数を生かした全校体制の取組が本校の特徴でもあります。来年度もこの利点を生かしつつ地域人材を活かした体験学習など、より一層積極的に進めていきたいと思っています。また、あらゆる機会において地域の方々に本事業の取組を伝えることで、更なる協力体制につなげていきたいです。

めざす子ども像

自分と郷土に誇りを持つとともに夢を持ち、 かなえようとする子ども

取組目標

地域の特色を生かした体験的な活動を多く取り入れる中で、「いきいき・わくわく・元気な柳生っ子」を育成する。

【今年度の取組紹介】

1、柳生らしさを体験的に学ぶ

「剣聖の里」で知られる柳生では、子どもたちは、剣道を通して先人から柳生に引き継がれてきたことを、体験的に学んでいます。春から、竹刀を用いた木剣体操が、始まります。「第104回柳生地区大運動会」では、木剣体操を地域や保護者の方に見ていただきます。秋には、柳生剣友会や保護者のご協力で「第48回剣道大会」を行うことができました。子どもたちは剣道の稽古や試合を積むことにより、心・技・体を鍛えることができました。



2、学んだことを伝えた学習発表会

学習発表会では、1年間で体験や学習や見学させてもらったことを、地域や保護者の方々に発表しています。「柳生町探検」で訪れたことをまとめ、自分の感想やこんな柳生の町になったらいいなと考える夢を交え発表しました。また、各学年から1年間で学んだことを発表し、最後には、地域の方や保護者と「ふるさと」を一緒に歌い、絆を深めました。



【今年度のまとめ】

- ・ 剣道以外にも、「柳生焼」「炭焼き」「闘茶会」「茶摘み」「米づくり」「柳生歴史教室」等の柳生地域の体験活動を行いました。ふるさと柳生での、地域見学や体験活動を行うことにより、どの子も今まで以上に自分たちの郷土を誇りに思う気持ちが強くなりました。
- ・ 柳生剣友会の方々にお世話になり、第48回の剣道大会を開くことができました。木剣体操や剣道練習といった年間を通した取組で、柳生の歴史について身をもって学ぶことができました。心身の鍛練や礼節等様々な力を身につけたことは、今後子どもたちの人生できっと役に立つと考えています。

【来年度に向けて】

- ・ 地域人材の更なる発掘や若い世代への協力を要請し、新しい取組も展開していきたいと思えます。そのために、本事業の計画や目標等を、学校便りやホームページ更新を継続して行い、保護者や地域の方々に伝えていきたいです。
- ・ 本年度、興東館柳生中学校として統合4年目になり、新しい中学校区で協力し合い、「ふれあい広場2018」に集うことができました。今後も、さらに連携を深めていきたいと考えます。

めざす子ども像

自分と郷土に誇りを持ちとともに夢を持ち、 かなえようとする子ども

取組目標

地域とのつながりを意識できる学習環境整備に取り組みながら、子どもたちが地域とのつながりを感じられる取組の充実をはかる。

【今年度の取組紹介】

地域の多様な人との出会いを大切にするとともに、地域の教育力を最大限に生かし本校教育を推進しています。なかでも“もち米作り”を昔ながらの農法で行い、米に関わる様々な体験学習を実施しました。田おこしに始まり、田植え、草取り、稲刈り、脱穀等収穫に至るまで、また、米作りから得られる副産物（藁等）を使って様々な活動を行いました。年間を通して地域の方々に支援していただく中で、“しめ縄づくり”“大とんど”の活動を今年度も盛大に実施できました。農業は自然相手の活動で、気象状況に大きく左右され収穫に影響を及ぼします。そんな中で熟練の農業技術、努力そして協力の大切さを知り感じました。米作りの副産物である藁を使っての“しめ縄づくり”では、地域民生児童委員の方々をはじめ有志の皆様が一同に会し、立派なしめ飾りを完成させることができました。このしめ飾りを家に供え“大とんど”で青竹の火と共に収穫の感謝と新年の豊作を願い燃やす活動を催しました。また、地域で行われている養蜂業も学びました。養蜂農家の方を招き蜜蝋のろうそく作りという貴重な体験学習を行うこともできました。



これらの学習は、地域の方の協力があつてのたまものであると感謝しています。

【今年度のまとめ】

本年度も地域教育協議会との連携の下「ふれあい広場2018」の開催を含め、地域の方々の熱心な支援・協力のもと学校としての取組も順調に進めることができました。「たくさんのお客さんの前で発表して、大きな拍手をもらいとてもうれしかった。」という児童の作文からも、地域の思いや願いを知り、感謝の気持ちを表現し、学校に対する地域の方々とのつながりがさらに深まった様子が見ええました。

【来年度に向けて】

校区から得られる人の温かさ、地域の産業、伝統文化の再確認と伝承していくことの大切さを学び、郷土のことを誇れる児童に育てていきたいと考えています。そのために、校区の歴史や伝統・産業を学び、先人の知恵や思いに触れ、体験を通して感性を育てていきたいと考えます。また、次年度も、これまで行ってきた活動を糧に、地域と連携・協働し、人と人とのふれあいから生まれる豊かな心を大切に、学校・地域の実情に合わせた取組を考えて、地域との絆をさらに強固たるものにしていきたいと思ひます。

めざす子ども像

自分と郷土に誇りを持つとともに夢を持ち、 かなえようとする子ども

取組目標

自然や地域の人との関わりを通して、豊かな心を育み、主体的に活動に取り組みようとする態度を育成する。

【今年度の取組紹介】

今年度は地域に1園のこども園となり、昨年度の2園の取組の中から地域の特色を活かし伝統文化や歴史に触れ親しむ経験や、地域の方に「地域の先生」として来ていただいたの様々な体験活動を計画的に取り入れ、園と地域が一体となつての取組活動ができました。

【主な活動】

○菜園活動

- ・ 田んぼづくりからの田植え、稲刈り体験
- ・ さつまいも、玉ねぎ植え付けと収穫

◆ 地域の方をお招きして『収穫祭クッキング』をしました。

○伝統・文化にふれる

- ・ 柳生焼体験(5歳児)
- ・ 茶道体験(5歳児)
- ・ 英語で遊ぼう(1学期・2学期)
- ・ 書き初め体験(5歳児)
- ・ 生け花体験(5歳児)

○毎月・学期での取組

- ・ お話の会(3回)
- ・ 紙芝居読み聞かせ(季節の行事にちなんで)
- ・ ミュージック・ケア(3回)
- ・ 体力づくり

○環境整備事業 花壇の花苗、球根をボランティアの方と園児が植え付け体験をしました。(春・秋)



【今年度のまとめ】

校区の学校園、地域教育協議会コーディネーターの方々と連携を深め、地域が一体となって取り組むことで子どもたちは園の教育活動では経験できないたくさんの人との出会いと交流ができ、会話を重ねていくことで親しみを覚え、また会うことを楽しみに待つようになりました。知らなかったことを優しく教えていただいたり、できたことをおおいに認めてほめてもらえたりする経験は子どもたちの大事な育ちの根源であり、少人数の園であるからこそ大事に育みたい思いやり、認め合い、たくましさにつながっていく取組であるとこれらの活動を通して実感しています。また、地域の方の温かいまなざしとご理解・ご協力により実践できたことに深く感謝をしています。

【来年度に向けて】

地域全体で少子化が進み利用園児が減少する中で、本園が担う課題は大きいです。地域の中で子どもたちが豊かに育つためには地域の人・もの・こと(地域資源)と触れ親しみ、顔見知りとなることで関係が豊かに広がります。今年度、取り組んできた活動の成果を次年度に繋げ、地域と共に子どもの育ちや学びを大事に見つめ、活気ある豊かな地域活動をこれからも展開していきたいです。